

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役 谷 直 樹  
 (コード番号：4579)  
 問 合 せ 先 常務執行役員 河田 喜一郎  
 (TEL. 052-446-6100)

## 営業外収益の計上見込み、通期連結及び個別業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成26年12月期第4四半期連結累計期間（平成26年1月1日～平成26年12月31日）において営業外収益の計上する見込みとなりました。また最近の業績動向を踏まえ、平成26年2月14日に公表いたしました平成26年12月期（平成26年1月1日～平成26年12月31日）における通期連結及び個別業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業外収益（為替差益）の計上見込み

為替相場の変動に伴う外貨建債権の為替評価替えにより、平成26年12月期第4四半期連結会計期間（平成26年10月31日～平成26年12月31日）において、為替差益95,347千円を計上する見込みとなりました。また、通期の連結累計期間では為替差益138,636千円を営業外収益として計上する見込みであります。

#### 2. 平成26年12月期 通期連結業績予想の修正（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

	事業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	300	△1,684	△1,685	△282	△20.82
今回修正予想 (B)	300	△1,983	△1,833	△259	△17.45
増減額 (B-A)	0	△299	△148	23	
増減率 (%)	0.0	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成25年12月期)	228	△2,137	△1,819	△1,108	△82.70

#### 修正の理由

平成26年2月18日に発表いたしました国立大学法人名古屋大学への産学協同研究部門「薬効解析部門」の設置に伴い、平成26年12月期に研究所の一部移転を行いました。その際、研究所の移転計画について一部修正がなされたことから、当初の計画より人員（人件費）が増加し、また施設関連費も当初計画を上回ることとなりました。さらに、当社開発プロジェクトの進展に伴う開発費用の増加、ならびに知的財産の強化を行ったこと等によって、事業費用が298百万円増加する見込みであります。

また為替変動に伴う外貨建債権の為替評価替えにより、営業外収益が当初の計画より151百万円増加する見込みですが、営業損失が299百万円増加したため、経常損失は148百万円増加する見込みであります。

当期純損失は、平成26年2月4日に発表した投資有価証券売却益が当初の計画より109百万円増加した他、事業所の移転費用が当初の計画より76百万円減少したこと等により、23百万円減少する見込みであります。

以上の結果、営業利益△1,983百万円（前回発表予想値△1,684百万円）、経常利益△1,833百万円（前回発表予想値△1,685百万円）、当期純利益△259百万円（前回発表予想値△282百万円）に修正いたしました。

### 3. 平成26年12月期 通期個別業績予想の修正（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

	事業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	300	△1,655	△1,655	△251	△18.58
今回修正予想 (B)	300	△1,926	△1,768	△194	△13.08
増減額 (B-A)	0	△272	△113	57	
増減率 (%)	0.0	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成25年12月期)	227	△2,069	△1,848	△1,136	△84.83

#### 修正の理由

上記、「2. 平成26年12月期 通期連結業績予想の修正」と同様の理由によって、営業利益△1,926百万円（前回発表予想値△1,655百万円）、経常利益△1,768百万円（前回発表予想値△1,655百万円）、当期純利益△194百万円（前回発表予想値△251百万円）に修正いたしました。

#### ※ 将来の事象に関わる記述に関する注意

業績予想につきましては、発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後起こりうる様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上